

11/25赤旗

# オスプレイまた落下物

## 沖縄・宜野湾住宅地に金属水筒



米軍普天間基地（沖縄県宜野湾市）所属のMV-22オスプレイが23日午後、宜野湾市役所北側の住宅密集地に金属製の水筒を落下させた。デニー知事は、長い年月かかる新基地建設では、「いつかは」と訴えました。

午後、県庁で記者会見し、同基地の危険性除去のためには同県名護市辺野古の米軍新基地建設は解決策にならないと訴えました。

水筒の落下地点と思われる場所に白い丸の印をつけられた。24日、沖縄県宜野湾市

同基地周辺では2017年12月、宜野湾市の緑ヶ丘保育園、普天間第二小学校に相次いで米軍の部品が落下。同小学校では児童が1人負傷しました。

デニー知事は、米軍のオスプレイによる今年8月の部品落下事故や、今月19日の那覇空港への飛来などを挙げ、「周辺住民や県民の不安が高まっている」と強調。今後、日米両政府に対しても厳重に抗議すると力を込めます。

普天間基地の危険に県民がえました。  
米側からの落下発生の情  
報は、24日前に沖縄防衛局を通じて県に連絡がありました。

午後、県庁で記者会見し、同基地の危険性除去のためには同県名護市辺野古の米軍新基地建設は解決策にならないと訴えました。

水筒の落下地点と思われる場所に白い丸の印をつけられた。24日、沖縄県宜野湾市

り、発生時間は23日の「おそらく午後6時45分(?)」と伝えられました。水筒はステンレス製で、県による調べが人の情報は入っていません。

落物が公表された24日も、現場付近では、オスプレイの飛行が確認されました。現場の近くに事務所を構える参院会派「沖縄の風」の伊波洋一議員は現場を訪れ、記者団の質問に、日本政府は普天間基地の「危険性をどんどん積み重ねている」と批判しました。